様式第１号（第６条関係）　**記入例**

和暦（元号）

大学発まちづくり研究助成事業応募用紙（事前審査申請書）

令和７年　４月２２日

（宛先）姫　路　市　長

学長印及び研究代表者の印は不要

所属大学・大学院の所在地及び名称	〒XXX-XXXX 姫路市〇〇〇〇		
	名称 〇〇大学		
所属大学・大学院の長の職・氏名	職名 学長	氏名 〇〇　〇〇	
研究代表者の部局・職名	部局 〇〇学部		職名（教授・准教授等） 教授
フリガナ	〇〇〇〇　〇〇〇〇		
研究代表者の氏名	〇〇　〇〇		
研究グループ名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇グループ		

次のとおり令和７年度において大学発まちづくり研究助成事業に応募したいので、姫路市大学発まちづくり研究助成金交付要綱第６条第２項の規定により添付資料を添えて申請します。

まちづくり研究テーマの名称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
研究テーマの区分	（該当する番号に〇印を付けてください。） ①　姫路市の政策や課題について提案等を行う研究 ２　フィールドワークを中心とした姫路市のまちづくりに関して提案等を行う研究 ３　自由なテーマで行う研究（本市に所在する大学の研究グループのみ）

研究の目的（背景、課題、意義、姫路市が策定している計画との関連等）
※姫路のまちづくりにとってのメリット・大学の研究者にとってのメリット（教育効果、学術的発見）についても必ず記載してください。

本研究では、〇〇〇。

〇〇。

〇〇〇を目的とする。

＜姫路のまちづくりにとってのメリット＞
〇〇〇。

＜大学の研究者にとってのメリット（教育効果、学術的発見）＞
〇〇〇。

＜裏面あり＞

本年度の研究実施計画（翌年度以降も継続する場合は、その計画も）

令和６年度まで　　　姫路市の当該助成金を活用し、○○○○についての研究を実施

令和７年度
○月上旬～○月下旬　　○○○○のための資料収集
○月中旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
７月上旬　　　　　　姫路市連携課との顔合わせ予定
○月下旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○月上旬　　　　　　○○○○に係る実地調査
○月中旬　　　　　　○○○○○○○○○○○へのアンケート調査及び回収
１１月　　　　　　　中間報告会予定
○月下旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○
○月上旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○
○月下旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○
○月上旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○
○月中旬　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○
１２月下旬　　　　　研究結果取りまとめ
１月下旬　　　　　　研究成果報告書データを姫路市に提出
２月中旬　　　　　　成果発表会予定

次年度以降も研究を継続する場合、申請の有無に関係なく記載してください。（1 年以上の研究期間が必要となる場合は、3 年を上限として本助成に応募できます。ただし、年度ごとに申請が必要です。）

令和○年度（継続）　今まで行った研究の成果を元に、○○○○○○○○○○○○○○
令和○年度（完了）　○○○○○について、得られた結果を取りまとめ学会発表を行う

研究に当たり連携したい市の課等（必須、複数可）

① 国民健康保険課

② 保健所予防課

市 HP などから調べて、具体的な課（所・室）名を記入ください。
分からない場合は、高等教育室へお問い合わせください。

連携したい理由（必須）

①○○○○○○○○○○○にあたり、○○○○○が必要であるため。また、将来的に○○○○のため。
②○○○○○○○○○○○にあたり、○○○○○が必要であるため。

連携課ごとに、理由を記載してください。

先行研究のレビュー

先行研究を概観し大別すると、３つの異なるアプローチが見いだせる。
○○。
○○。
そこで、本研究においては○○。

（添付資料）
①　ゼミ・研究室、研究グループの概要が分かる資料（所属者名簿、活動状況）
②　研究活動に係る収支予算書